会議結果報告

１　会議の名称
令和８年度第２回光市環境審議会

２　開催日時
令和８年１０月２９日（木）１５時３０分～１６時２０分

３　開催場所
市役所本庁３階　第５会議室

４　出席人数
出席委員１１人、欠席２人、事務局７人、傍聴１人

５　公開・一部非公開の別
公開

６　会議の議事録（要旨）
（１）開会

（２）会長あいさつ
世界情勢は不安定な状況がつづいており、戦争や紛争に伴う自然破壊に対し強い憤りを覚える。その大規模な自然破壊に対して我々が行っている自然環境保全活動に意味や効果があるのか不安になることがある。
しかしながら、いつかは戦争や紛争は終わり、再び自然環境保全活動が世界共通の重要事項となる際には、今私たちが地道に行っている活動が実を結ぶことになる時が必ず来ると考えているので、引き続き、皆様に環境問題等への様々な取組にご協力をよろしくお願いしたい。

（３）議事
ア　第３次光市環境基本計画の取組状況（令和７年度）について
環境政策課職員により配布資料に沿って説明
【質疑・意見等】
・数値目標の中で、「自然体験学習・環境学習等の参加者数」について、大幅な未達となっているがその原因は、また、代替案等はあるのか。
→策定時開催していたイベント「エコフェスタ」が終了したことにともない、参加者数の大幅な減少となっている。
現状では、代わりの大型のイベント開催は考えていない。

イ　光市の環境について

環境政策課職員により配布資料に沿って説明

【質疑・意見等】

・テトラクロロエチレンが超過しているとのことだが、原因の究明などは実施しているのか

→県の調査により継続監視されているもの、市としても県の結果を注視していきたい。

・漏洩場所の特定はできているのか

→過去、県が調査した結果を基に、その場所の継続監視を続けている。

・大腸菌群数の超過について、浄化槽等からの漏れがあるのではないか

→検出された場所の上流には浄化槽を使用している家庭はあるが、浄化槽には年１回、県の検査等があり適正に活用されていると考えている。

≪環境審議会の判断≫

光市環境審議会として光市の環境は問題ないと判断します。

ウ　令和９年度リーディングプロジェクトの改定について

環境政策課職員により配布資料に沿って説明

【質疑・意見等】

・次世代自動車の普及に関して、充電施設が不足しているのではと考えている。例えば「海商通り」などの観光地に設置できれば、観光しながら充電出来て良いのではないか。

・ペロブスカイト太陽光電池について、現状、民間や家庭への設置は技術的な課題が大きいと考える、公共施設へ先行的に導入するなどの取組を行い、その効果を発信することで、民間や家庭への導入が進むのではないか。

・家庭からの CO２排出量の削減は今後も重要なものの一つと考えている。LED 照明への交換は効果が高い上に、令和９年末での蛍光灯製造廃止もあることから、引き続き、補助等を行うのが良いと考える。

・計画策定から５年間で取り巻く環境は大きく変化している。そういったことを十分に考え、数値目標を定め、変更することを行う必要があると思う。

・省エネに対して、その効果の「見える化」ができると良いのではないか。

（４）その他

（事務局）

今回で、現任期での環境審議会は終了予定です。

引き続き、環境政策へのご助言とご協力をお願いいたします。

（５）閉会